

<目を離さないで>

ヘブル12：1～3

信仰の創始者であり、完成者でイエスから目を離さないでいなさい。
イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず
に十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。【2節】

fixing(固定) our eyes on Jesus.

イエス様に自分自信を明け渡し主導権を委ねた。
ハンドルを譲った。しかし、再び自分でハンドルを握る
ように仕向けてくるものがある。

パウロは、数々の苦難に耐えることができた強さがどこからきたのかこう伝えた。

「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。と言われたのです。ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」

Ⅱコリント12：10、11

イエス・キリストを信じたものは、既に恵みの中を生きている。

「目を離さない」で思い起こすこと。

湖の上を歩いたペテロ

イエスは「来なさい」と言われた。そこで、ペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行った。ところが、風を見て、こわくなり、沈みかけたので叫び出し、「主よ、助けてください」と言った。

マタイ14：29、30

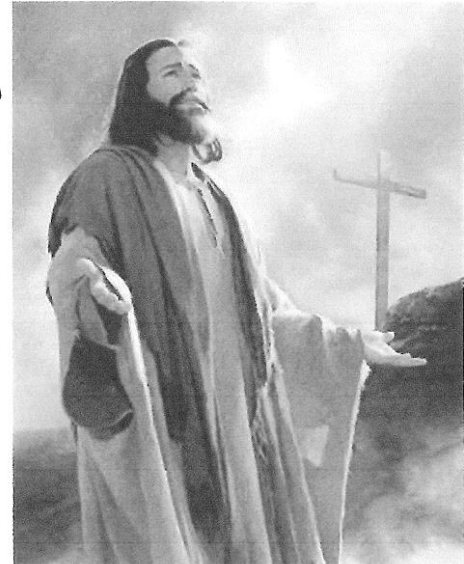
イエス様が沈みかけたペテロに言った言葉は

「信仰の薄い人だ。何故疑うのか。」

1) イエス様から目を離さないでいなさいって、具体的にどんなことだろうか・・・？

① イエス様への意識をいつも ON に

② 毎日のデボーション



2) イエス様はどんな道を走られたのか？

神でありながらその立場を置いて、人として家畜小屋でお生まれになった。
御国を宣べ伝え十字架へ。その直前にゲッセマの園で苦しみの祈りを捧げた。
十字架で死なれ、墓に埋葬されたが、墓の中で死んだままで終わらなかった。
よみがえった。「神の全能の力」によって。そして天に上げられた。

神はその全能の力をキリストの内に働かせてキリストを死者の中からよみがえらせた。

エペソ 1 : 20

あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、
あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。【3節】

私たちはキリストの愛で敷かれた道の上を走っている。